

第9回 橋本市都市計画審議会専門委員会及び
橋本市都市計画マスタープラン等策定検討委員会 議事録(抜粋)

会議名称	第9回 橋本市都市計画審議会専門委員会及び橋本市都市計画マスタープラン等策定検討委員会	
日時	令和4年11月14日(金) 午後1時30分～	
場所	橋本市役所 3階 委員会室	
出席者	委員 (敬称略)	<p>○橋本市都市計画審議会専門委員 濱田 學昭 平野 耕造 平家 利也 乾 幸八 板橋 真弓</p> <p>○橋本市都市計画マスタープラン策定検討委員会 濱田 學昭 葛原 芳秀 西山 恵三 池田 和夫 西井 幸男 向井 景子 栄迫 仁志 房本 恵 武田 昌也 大原 康平</p> <p style="text-align: right;">【出席委員 14名】</p>
公開状況	公開	
傍聴者	0名	
次第	<p>1. 開 会</p> <p>2. 協議事項 都市計画マスタープラン素案の協議について</p> <p>3. 閉 会</p>	
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第9回合同委員会次第 ・ 都市計画マスタープラン素案 	

○委員長挨拶

今回のご意見をもとにパブリックコメントを実施するための大枠を固めたいと思っています。大きな修正を行う議論は本日が最後となりますので、何卒よろしくをお願いします。

○協議事項について

前回の委員会でもいただいた意見をもとに構成や表現等の見直しを行い、素案の大枠を事務局にて作成しました。その素案について資料をもとに説明を行いました。

《意見等》

■素案について

- ・各テーマの取り組みの文の締めがほとんど「取り組みます」となっている。市の姿勢として消極的に映るので、もう少し踏み込んだ記述はできないのか。10年後振り返った時に取り組んだ結果できませんでした、となっている項目が多く出るのではと危惧している。
→具体的に書きすぎると今後の選択肢を狭めてしまう可能性もあることから、全て変更することは難しいが、出来る範囲で表現の改善を試みる。
- ・掲載されているグラフのデータ等について、最新のものが公表されている場合があるので確認と更新をお願いしたい。
- ・市民協働について、行政と市民が協力していかなければならないのだということをもっとしっかりと記述してもらいたい。
- ・高野口地域の用途地域の指定について、具体的に進めていくのであればその必要性などをもっと記述すべきと思う。
- ・将来橋本市が目指す都市の構造について、もう少し図で視覚的に表現をしておく必要があると感じる。
- ・高齢者や障がい者にとっての外出しやすいまちづくり、道路の段差の解消だとかそういったところについて、しっかりと記述をお願いしたい。
- ・防災についても、今後デジタル化などが重要になってくると思われるので、しっかりと記述して欲しい。
- ・専門的な文言の説明について、解説をつけてほしい。
- ・P9の土地利用の構成図について、水面とは何を含むのか。またその他とは具体的にどんな土地か。
→水面等とは、河川や池など。その他は、例えば鉄道など、具体例を挙げている土地以外の用途の土地を指している。
- ・浸水想定区域の画像について、高野口地域が切れているように思われるので、全域をしっかりとカバーした画像に差し替えてもらいたい。
- ・庁舎の建て替えの際に防災機能を備えたものにする、とあるが、出来れば防災センターのような施設を整備することを盛り込んでもらえないか。関連して、教育施設や消防庁舎の更

新などに併せて防災教育センターや防災情報の発信の拠点などの整備をぜひ検討してもらいたい。

- ・公園の整備について、子どもが主眼に置かれているが、高齢者などは幅広い年齢が楽しめる環境整備をお願いしたい。
- ・P40③の生涯学習施設の充実について、市民会館と産業文化会館の機能統合とはどういった機能の統合を果たすのか。
→そもそも統合が可能なのか、可能だとして全体なのか部分的に機能を移すのかなどから研究をしていくということ。
- ・P40④シビックゾーンの充実とあるが、具体的な計画はあるのか
→シビックゾーンには市役所庁舎だけでなく、市民会館や図書館などほかの施設も含んでくる。具体的な計画は現時点ではなく、どういった施設配置や形にしていくのかを含めてこれから調査・研究を進めていく必要がある。
- ・市庁舎の建て替えについては基金の積立を始めているとのことでもあるので、計画にもその辺を載せていってもよいのではないか。
→掲載するかは検討させていただきたい。
- ・課題としてDXが挙げられている割にはデジタル化に関する取り組みが少ないように感じた。
- ・デジタル化というとなんとなく大きな取り組みをイメージすることも多いが、身近なところの改善につなげていく、市民の生活に近いところから変えていくというのも大事だと思う。
- ・コミュニティバスについて、行きと帰りでルートが異なったりということがあって使いづらい思いをしたことがあるのだが、ルートの変更などは可能なのか。
→ルート変更は法的な手続次第で可能であるが、そもそも既存の民間バスがカバーできない部分を補うのがコミュニティバスであるため、変更先が民間バスが運行している所である場合はバス停に設定することは難しい。
- ・杉村公園について、P43 に内容を充実していくとあるが具体的にどういったものなのか。また、杉村やすらぎ広場がオープンしたことで、杉村公園でのイベント等が重なると駐車場の供給が追い付かないことが多々あると感じる。駐車場自体や狭い通路の拡幅などは考えられているのか。
→充実内容について、一部駐車場の舗装を行い、利用しやすくしていくことは予定している。また、駐車場への進入路については、池や民地が隣接している関係で拡幅が難しいこともあるが、課題であることは認識している。
- ・P21 でモノづくりについて、冠名が付くほどの、と記載の割には具体的な取り組みが提示されていないので残念を感じる。
- ・耕作放棄地、鳥獣害対策について、これまでも言っていることで、目立った進展があるようには感じていない。具体的な対策を講じる必要があると思う。

- ・棚田やはたごんぼといった農業についてはもちろん重要だが、規模でいうならばマイナーな部類に入る。もっと市全体で見たメインの農業についての方針がもっとあればと感じる。
- ・観光農業という部分も重要とは考えるが、フルーツライン沿いなどをもっと景観良くしたり、観光向けの取組をしたいと思っても水の問題などで土地利用が制限されてしまい前に進みにくい。そういった部分の改善も考えていってほしい。
- ・きのくに子どもの村学園なども市外からも注目度の高い学校だと思うので、上手く協力していければよいのでは。
- ・奈良県でリニアの駅の整備計画や自衛隊の駐屯所を整備するといった長期的な話が挙がっているのも、そういった10年以上先の動きも念頭に考えていく必要があると思う。
- ・教育関係の施設についてもできれば計画に記載していってほしい。
- ・道路の計画について、拡幅や新しい道路の整備となる場合、土地は買い上げになるのか。
→決まってははいない。寄付という形で基本的にはお願いしていると思うが、ケースバイケースかと思う。
- ・農業の話でも挙げたが、パイル織やへら竿といった産業はあくまで工芸品であり、市内ではもっと規模が大きく取り組んでいる事業者が多くいる。これらの産業についての取組もしっかり考えて、前面に打ち出してほしい。
- ・交通安全の対策について、高齢者対策とも関わるが、標識自体や標識の文字を大きくするといった市独自の取組なども警察と相談しつつだが必要では。
- ・高野口の用途地域のことについても触れられているが、今高野口は工場の跡地などを使った分譲地が増えてきている。ただ、その結果家は建つが駐車スペースが少なく路駐につながったりする。そういったことも考慮しながら考えていってほしい。
→条例の中でアパートやミニ開発などがある場合は指導要綱等で駐車場の確保については指導しているので、そういった規定をもとに引き続き行っていきたい。
- ・今更の話になるかもしれないが、将来像がどうしてもはっきりと見えてこない。年々情勢が変化し、なかなか具体的なことを書くのは難しいかもしれないが、若者が橋本で商売を続けていけるような、賑わいを生みだせるようなことをなるべく盛り込んでいってほしい。
→たくさん意見をいただいている中で、少しでも具体的なイメージを持ってもらえるよう、委員長とも相談しながら必要に応じて内容の修正も行い、パブリックコメントを実施していきたい。
- ・医療については今回の計画には載せないのか。
→救急車両の通行などを踏まえた道路の問題として記載はすることになる。
- ・救急の際の引受先などといったことも人命にかかわるので、大事なこと。
- ・マスタープランは行政がこれまで行ってきたことの延長で行うというわけではなく、これから新たに行うことを書くべきところ。そういった意味では、やるべきこと、やりたいこ

とについて十全に記載できているかというところではない。

また、例えば、鉄道利用を促進するとあるが、当たり前のことを書くだけではなく、それならば駅の利用者を増やすためには駅周辺に住宅や生活する人を増やす必要があるし、そのためのプロモーションをもっとしなければいけない。本来であればマスタープランにはこの住宅や人を駅周辺に集めるための方策を書く必要がある。

- ・シビックゾーンの記述について、図書館の整備についてシビックゾーンとあわせて検討、というような書きぶりになっているが、これではシビックゾーンを整備しない限り図書館も進展がない、というように見える。そのような決まりはないはずなので、そこは別であるということで記載してもらいたい。
- ・場当たりにその場その場で一番予算が少なく済む方法を取っていくと、結果的にお金がかかることが多々ある。例えば保健福祉センターを建てた際に、あれだけを建てるのではなくて、市役所や図書館、さらには市民が集まれるような公園なども一体的に考えて整備すれば、その時はお金がかかるかもしれないが、集客もできてお金を生むエリアが生まれていたかもしれない。
- ・これは情報提供としてですが、かつらぎ町では、役場の移転にあわせた商業施設エリアの整備に52億使うらしい。これを安いと思うか高いと思うかは人によると思うが、それだけのお金をまちを挙げて使おうという総意が出来ている。
- ・都市計画というのは、行政側からすると大変なことだが、何を言ってもいい。むしろそうやって市民が都市計画に対して意識を向けて意見を出すということが大事。
- ・今後のスケジュールはどうなるのか。
 - 今回出た意見をもとにパブリックコメントを実施する。スケジュール的に12月末か1月頭には開始する必要がある。なので、もう一度委員会を開催して、今回の意見を修正した案を確認いただく時間がないため、委員長と相談したうえでパブコメ掲載案を決定させてもらいたい。
 - パブコメ実施後に、結果の報告と、それをもとに最後の修正をまた次回の委員会で行っていただきたい。
- ・パブリックコメントで意見を書く際は匿名なのか。
 - 意見の提出にあたっては氏名と住所を記入いただくことになっている。ただ、氏名等の公表はされない。
- ・フルーツラインについて、高野山へ向かうのに交通量が増えている。沿道を活性化したいと思っても水道のハードルが高い。直販所などを設けるにあたってのいろいろなハードルをもう少し低くしてもらえるとありがたい。
- ・農地の利活用は今でも規制が厳しい。また、どんな施設を作るにしても水道は必須。人が集まるような取り組みをすることで水道を引けるようなインセンティブを作っていく必要があると思う。

以上